

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野譲次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24・1931 ・491-0858



未来を描こう、笑顔でつなごう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2022年8月25日 第3517回例会

会 長 関 戸 徹 会長エレクト 足 立 誠
副 会 長 青 山 佳 裕 副 幹 事 富 田 隆 裕
幹 事 吉 田 真 人 会 報 委 員 長 熊 田 慎 二

プログラム

MY Rotary 登録推進例会
近藤尚文君
村手 誠君

ロータリーソング「四つのテスト」
第3516回例会の記録
2022年8月18日(木)

副会長挨拶 青山佳裕

みなさんこんにちは。
今日は一宮ハイウェイオアシスプロジェクト会長の伊藤葉子さんにお越しいただきました。
今日は急遽、関戸会長の代理としてご挨拶させていただきます。
一宮のコロナの感染者は昨日1100名と増えてきており、もう誰が罹患しても不思議ではありません。私の会社でも感染者が増えています。
ここで少し笑えるお話をさせていただきます
実は私は最近妻と一緒に海外に行っており、帰国前の検査で私だけがコロナの陽性になってしまい、症状はありませんでしたが帰国することができなくなり妻だけを帰国させて、一人で海外のホテルで過ごしていました。
日本よりは自由に出歩ける生活が出来ていましたが、いつ帰れるかも全く分からなくて、日本が恋しくて、恋しくて仕方がありませんでした。陰性になるまで3日間続けて検査をしましたが、何とか8月9日に帰ってくることができました。
コロナの感染者が本当は多くなっていますが皆様方もお気を付けて過ごしてください。
市販の抗原検査キットはとても優秀なので不安を感じられた方は是非一度ご自身で検査をしてください。

次回の予定

8月31日(水) 9月1日の例会変更
一宮駅前iビル7階 シビックホール
一宮4RC合同ガバナー公式訪問

委員会報告

ニコボックス

安藤滋朗

☆ 川松保夫君 川松久芳君

川松会計事務所は、この夏創業70周年を迎えることができました。これもひとえにお客様をはじめ皆様方のご愛顧のおかげと深く感謝しております。また、これを機会に事務所の備品の更新をすすめ建物全体の外装リフレッシュ工事を行いました。施工をお願いいたしました榊原建設株式会社様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。職員一同初心に戻りより一層の努力をしていく所存です。皆様方には今後とも一緒のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

☆ 関戸 徹君 吉田真人君

本日卓話を頂く伊藤葉子さまをお迎えする喜びで。よろしくお願ひします。

ロータリーの友8月号紹介(代読)

安藤滋朗

広報・雑誌委員会より、「ロータリーの友8月号」をご紹介します。

横組み表紙をご覧ください。多才な障害者アーティストこまえ工房さんの作品で「ウクレレ・パイナップル」を段ボールで製作しているアート作品になります。

横組み5頁、RI 会長が女性になりましたが、数年前に国際ロータリー理事会は2023年までに女性会員の割合を30%にするという意欲的な目標を設定しています。

横組み7頁から13頁に女性会員を増強しようという特集が掲載されています。11ページ、女性の入会のハードルを高くしている要素として「男性中心であること」が最大の理由になります。

この地区からは縦組み22頁に稲沢RCの例会に、会員が赤ちゃんと一緒に例会復帰という記事が掲載されています。女性がロータリー活動を続けていきやすい柔軟なクラブ運営をするための一つの事例となっています。

以上8月号の紹介でした。

出席報告

現在の会員数 109名
本日の出席数 54名
前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

卓話

伊藤葉子氏

(一宮ハイウェイオアシスプロジェクト会長)

テーマ「一宮ハイウェイオアシスについて」



昨年に引き続き、お声がけ頂き誠にありがとうございます。

お陰様で、この一年間、多くの方のご協力によって、プロジェクトのPRを進めることができました。

今は、プロジェクトの存在を、多くの方に知っていただく、という段階で、一宮市に振り向いてもらうには、まだまだ多くの時間と道のりがかかると思っています。

一年間の活動をご紹介します。

NPO法人コミュニネスいちのみや主催で、2021年8月1日に、プロジェクトのパネルディスカッションをオンライン開催し、構想を発表させて頂きました。

11月には、刈谷ハイウェイオアシスに視察に行き、ご苦労話をたくさんお伺いできました。

1月に、20代の若者も加わりコミュニネスいちのみやの意見交換会を開催、2月には、岐阜大学客員教授の加藤義人先生から、次のようなプロジェクトへのご意見(抜粋)を頂きました。

「本プロジェクトは、ランドマーク性と事業ポテンシャルの両面で高い可能性を持つと思う。一宮市の新たなシンボルになり、マーケットは高速道路利用者、一宮市民、広域住民の三層構造で期待できる。地域が内発的にまち自慢を創出することはシビックプライドを高めるので、官民連携型で実現すべき優れたアイデアだと思う。今後は、事業手法の組み立て検討されていくことと思うが、まずは一宮市役所が本気になれるよう気運醸成を図ることが肝要。」

そして3月、一宮市制100周年の市民チャレンジ事業の一環で提言書を一宮市長に提出しました。

5月には「第20回 杜の宮市」でPRとアンケートを行い、214名から回答を得ることができました。「絶対実現させてくださいね」とお声がけを頂くこともありました。

さて、提言書を作る中で、新たに分かった情報があります。現在、グリーンプラザを含めた公園全体の維持管理費は、年間7千万円ということです。

一宮市では、教育委員会、公園緑地課と、所属ごとに決算しておりますので、この公園で7千万、というのは市民に認識されていなかったのではないのでしょうか。

そして、収入の概算です。

NEXCO様と、刈谷HO様の数字をもとに、シミュレーションしてみました。

そうしましたら、高い立ち寄り率と利益率が出ました。小さな建物でお客さんが次から次へと入って消費して出ていくわけですから、大きな投資が必要なく、高速道路という閉鎖空間で、食事などの選択肢が極端に少ないわけです。

さて、一見困難だと思われるこのプロジェクト(いや、実際困難ですが)、私の拙い経験をご紹介しますことで、可能性を考えてみます。

私は名古屋市交通局で店舗開発を担当していた時の2019年にオープンした13店舗のエキナカ、ヨリマチ伏見の立ち上げのお話です。

最初、東京や大阪にある地下鉄駅のエキナカを名古屋で、と発案したところ、各部署から構造的に困難といわれました。

でも皆で他都市を勉強、調査した結果、上司や同僚に恵まれ、「維持管理費の確保のためにも、職員の技術継承のためにも、30年後を考えたら必要だ」との判断を3年後に頂きました。

創りたいと思う原因者が粘り強く取り組み、結果的に発案から6年後に、オープンしました。

SNSで「伏見に転職してよかった!」「トイレが綺麗で街がワンランクアップした」というコメントに嬉しくなりました。



同じように、このプロジェクトも、「想定していないものを作るなど構造的には難しい」と関係者は言うと思います。

10年前に、まさか都市公園で店が収益を上げるなど、考えられなかったのですから、でも、例えば、奇跡的に橋の大改修が必要になるとか、コロナでできるチャンスが巡ってくるかもしれません。

そして、今ないものを「創りたい」と若者、市民が思うことは、まちにとって、前向きで、良い流れだと思えます。

これは、負担のない良質な公園を残すプロジェクトです。

そして今は、一人でも多くの地域の方々に、問うていく数年間だと思います。

これから人口が減り、GDPが減ります。するとあらゆる公共施設の維持管理ができなくなる、ならば、官・民、市民の「三方良し」の官民連携を増やしていく必要がある、これが私の行動の源です。

平成24年以降、国も同じ方向で矢継ぎ早に法整備を行ってきました。

そして私はそれを生まれ育った一宮で最大限に生かしたいと思えます。

2022年9月23日(金)に、「みんなでつくる一宮ハイウェイオアシス100人座談会」を開催します(NPOコミュニネスいちのみや主催)。

周りの皆様にぜひお声がけくださいませ。

我がが尊敬する則竹理事長がいつも仰います。「楽しんでやりましょう。」

その言葉を胸に、楽しみながら、夢の実現に今後もゆっくり丁寧に取り組みたいと思えます。